第４学年国語科学習指導案

１　単元名　言葉で遊ぼう大会を開こう　－言葉遊びの世界－

２　本時のねらい

既習の言葉遊びの経験を活用し、いろは歌の七五調のリズムを感じ取りながら音読したり、その特質を考えたりすることができる。

３　準備物

【教師】センテンスカード、五十音表、ワークシート、ヒントカード、自己評価カード

【児童】言葉遊びグループ発表資料

４　展　開

学習活動・内容（時間：分）	教師の働きかけと評価（評価方法）
１　言葉遊びを発表して交流し合う。(15) ・言葉遊びを発表することへの意欲 ・伝え合う楽しさ ・言葉の音や意味への着目	○　発表グループのめあてを引き出し、そのよさを具体的に価値付けることで、発表会に向けての意欲を喚起させる。 ○　言葉の音や意味の特徴をよくとらえて言葉遊びを考えていることや、友だちの発表に対して進んで応答するなどの主体的に学習に取り組む態度をとらえて称賛する。
千年前の人が作った言葉遊びの秘密を探ろう。	
２　いろは歌の秘密について話し合う。(25) ・七五調のリズム ・すべての仮名の音を使って作られている歌 ・意味のある歌	○　音読をさせることによって、いろは歌がもつ七五調のリズムに気付かせる。 ○　これまでの学習を想起させることによって、いろは歌の音や意味から秘密を探っていこうとする意識をもたせる。 ○　五十音表を提示することにより、いろは歌がすべての仮名の音を使って作られていることに気付かせる。 ○　見通しが十分にもてない児童や解決が困難な児童には、ヒントカードを用意し、自らの力で発見できるようにさせる。 ㊥　いろは歌の音と意味の特質に気付き、自分の言葉で表すことができる。 （ワークシート、発表）
３　本時の学びを終えての感想やめあての振返りについて発表し合う。(5) ・学びのよさの実感 ・言葉の秘密を解き明かす楽しさ	○　学びの状況を振り返る評価カードを活用し、言葉遊びの楽しさ、新しく言葉の秘密を解き明かした喜び等、学びのよさをとらえ称賛することで、自分たちで学びをつくるよさを意識させたい。